

2005年度 「女性の活動」レポーター紹介

今年度も全国各地からご応募いただきました。地域・活動等のバランスを考慮のうえ、下記の10人の方々をお願いすることになりました。来年3月までの1年間、レポーターと連携しながら、活力ある情報をお届けしたいと思います。

- 白井壽美枝(青森) 青森市男女共同参画社会づくりをすすめる会
- 鎌田奈緒子(秋田) 子どもにかかるお金を考える会
- 霜田 初子(群馬) 子育てエンジェルズ
- 鈴木久美子(埼玉) めんどり会議・ふぁーすとすてっぶさいたま市女性カレッジ修了者の会
- 小清水ゆり(千葉) 船橋市女性センター
- 海野かをり(長野) CAP北信濃
- 山下 清子(富山) ベアテさんの会
- 廣瀬 静子(福井) 福井市環境審議会
- 糸山 智栄(岡山) NPO法人さんかくナビ
- 福峯 静香(沖縄) 療育ファミリーサポートほほえみ

※所属は複数の場合、主なもののみ記載

2005年度 「女性の学習の歩み」 実践・研究レポート募集

これからの女性のエンパワーメントをすすめるため、女性の生き方や活動をジェンダーの視点でふり返り、社会・地域・家庭の中で葛藤や障壁を乗り越えてきた過程を女性の教育・学習の歩みとしてまとめた実践・研究レポートを募集します。

◆応募の条件

1. 女性の教育・学習活動(女性運動・市民活動・職業生活・学級やグループでの学習活動等)を通じての成長、自分史、個人史など)の歩みを考察したものであること
2. 未発表のものであること
3. 使用言語は日本語であること
4. 原稿は郵送のこと(メール・FAXは不可)

◆原稿字数(年表・図表を含む)

横書き 16,000字~22,000字

A4判 ワード40字×30行、あるいは400字詰原稿用紙

※表紙に、実践および研究テーマ、氏名、住所、電話番号、職業、年齢を明記

◆応募資格

趣旨に関心をもつ個人およびグループ(性別・国籍を問わず)

◆締め切り 2005年9月30日(当日消印有効)

◆入選レポート 入選1篇、佳作2篇以内

◆研究奨励金 入選20万円

佳作5万円

◆選考委員

國信 潤子(愛知淑徳大学ビジネス学部教授)

江刺 昭子(女性史研究者)

小林 繁(明治大学文学部教授)

◆報告会

2006年2月開催予定

◆応募・問い合わせ先

本財団学習事業課